

改修工事後の新生活への取り組み

令和4年8月、改修工事が終了しました。個室化、介護型入浴設備等、障害特性、重度・高齢化、身体的負担に対応できる支援環境を整え、新生活がスタートしました。

それに伴い、日課やQOLの見直しや職員間での情報伝達と応援協力を円滑にするインカムの導入等を実施しています。利用者一人ひとりの生活をより豊かにし、安心安全な生活環境の実現に向けて、取り組みを行っています。



ユニットケアへの取り組み



ゆったりとした環境設定、感染症対応等を踏まえ、ユニットケアの実現に向けた取り組みを行っています。個別・少人数グループでの食事やおやつ、余暇活動を提供することで、落ち着いた環境と好きな活動の時間を持てるようになりました。少人数での支援体制にすることで、利用者同士や職員との関わりの時間が増えるだけでなく、個別の支援もできるようになりました。取り組みの途中ではありますが、利用者の皆さんが生き生きと過ごし、笑顔・満足度のアップに繋がっています。

コロナ禍における、生活の満足感を高める取り組み

今年度もコロナの影響を受けて、行事や外出の制限、調整を強いられました。利用者の皆さんから「行事を楽しみたい」「外出したい」との声を受け、前年度の経験から検討を行いました。出来ない理由ではなく、どうしたら出来るのかを考え、感染症対策を施し、季節行事や少人数での外出の実現に繋がりました。結果、利用者の皆さんから喜びの声を頂き、満足感を持っていただけていることを感じました。



次年度に向けて

- ◆ 曲ヶ島エリアにおける「つながるサービス」の強化を目指します。曲ヶ島エリアの事業所との連携を図り、日中活動の模索、検討、実践を行います。活動の幅を広げ、選択肢を増やすことで、利用者一人ひとりに合ったサービスの提供に繋がります。
- ◆ 虐待防止・権利擁護の推進に向けて、委員会の開催、研修、啓発活動やセルフチェックを行います。
- ◆ 知的障がい者支援等に必要な知識を学び、質の高い支援スキルの獲得を目指し、毎月研修の機会を設定します。プロフェッショナル性、福祉PRIDEを持つ職員の育成を図ります。
- ◆ 利用者主体及び自己選択・自己決定を大切に、その人らしさを追求するプログラムをチームとして協議、実践する事で、サービスの活性化を図ります。